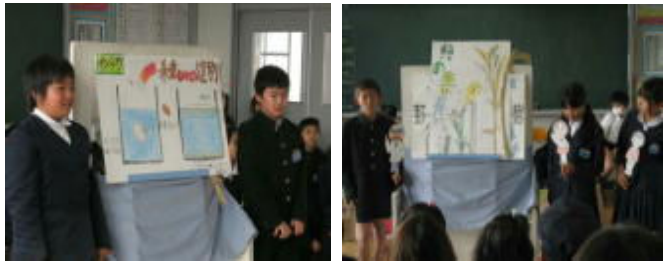


(1) 収穫祭での発表をイメージさせ、発表の内容や方法を決めさせる。

重点目標の子ども版「きちんと話す」場や発表の内容・方法を考えさせました。3クラス合同の約12グループが「稲の成長」に合わせて紙芝居劇をしようとして決め、グループごとに役割分担をし、目的意識をもって製作活動に取り組みました。特に発表ではいつものように、原稿を見ないで話す・笑いをとる・ペープサートや効果音・動作を入れるなど、自主的な工夫が見えました。

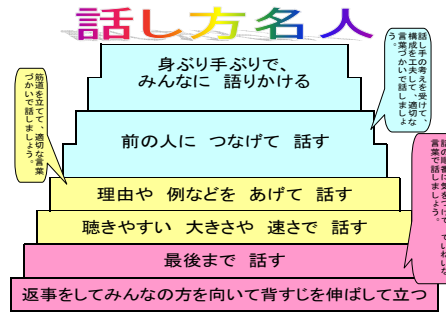
発表後の観客の大きな拍手は、喜びと自信に結びついたようでした。



【男女が協力して発表する様子】

《「原稿を見ないで話す」ための取組ポイント》

- ①「きちんと話す」指導目標の共有化
- ②月1回の全校朝会での「話し方」の指導（プレゼンテーションを使用）



- ③評価（児童のふり返りと表彰）

全校朝礼で知らせ、推移を掲示



←「ニコニコ賞」

←「重点目標の数値化」

【賞賛や頑張りを認める廊下掲示】

- ④全体での発表や感想発表の場の設定



←発表を見た直後に必ず感想を発表。
*原稿を見ずに話す下準備としては、原稿を一文で構成させる事と友達同士でのリハーサルを行うようにした。

支援のポイントとその成果

(2) 表現のもととなる体験活動とふれあい活動の充実を図る。

「田植え・稲刈り・餅つき」という5年生の伝統行事に、種籾選別や消毒、種まき、代掻き見学、益害虫の観察、除草、脱穀、粃すりなどの体験活動を位置づけ、それを説明指導してくださるGTやボランティアの確保が支援として必要でした。活動においては、必ず質問や感想の時間を確保し、そこでの実体験で学んだことや質問の内容が、発表の中に生かされていました。日常的に、全校集会や、児童集会などで感想を発表する場面を設定していることの成果が表れました。

収穫祭当日の餅つきは、事前に餅つきのレクチャーをしていただき、単に言われたことをするのではなく、見通しをもって活動できるように支援しました。そのため準備や後片づけを、進んでする姿がたくさん見られました。つきあがったお餅を雑煮に入れ、皆でおいしく食する喜びや、育てた餅米を販売する活動も、いろいろな方とコミュ



【田植え】と【餅つき】

ニケーションする場となり、収穫を体と心で喜んでいるようでした。
(3)感謝の気持ちを表すようにさせる。

収穫祭当日は、お世話になった方を招待し、発表の中や収穫祭の「感謝の集い」の中でお礼の気持ちを表現しました。そのために、餅米作りにもなる活動を写真や発表内容を通してふり返らせたり、目に見えない所で支えていただいたことを紹介したりしました。感謝の言葉は、その時のことをうまくフィードバックした気持ちのこもったものとなり、GTの方から「よく分かったよ。こちらこそありがとう。」といったお褒めの言葉をいただき、満足感を味わったようでした。

(4)保護者・地域ボランティアの協力を得る。

収穫祭はPTA会員及び地域を巻き込んだ全校あげでの伝統行事に育っており、以前は餅つきを通してのふれあい活動が中心でしたが、今回は、収穫までの体験や喜びを表現する場を重視する方向にシフトするようにしました。しかし、活動の支援は必要であり、収穫祭実行委員会（年3回開催…地域や元PTA30名+現PTA40名）に当日ボランティア60名が参加いただきました。実施の際は、餅つきと発表の時間帯を重ねないようにするなどの工夫をし、児童の発表が交代で見えるようにしました。児童もたくさんの参観者がいることが励みとなりました。



【会食のボランティア】

《支援ボランティア体制のポイント》

①全PTA会員への協力依頼

ア) PTA総会を通して「協力カード」募集の配布（4月下旬～5月上旬）

支援のポイントとその成果

「保護者ボランティア活動」の協力カードの提出について
 （一人一人ができることをできる範囲で）

- (どのPTA会員も、協力できる行事・活動名を1以上選び5月中旬迄に提出)
- イ) PTA年間計画と活動内容を説明したものを配布（PTA総会要項に挿入）
- ウ) 協力カードを、PTA役員で集約し、一覧表の作成（5月中旬）
- エ) 学校側で一覧表をデータ化し、活動名ごとに封筒を作成（5月中旬）
- オ) 活動時期に合わせ、案内状を配布（5月下旬～）

ボランティア活動の内容

(1) PTA活動

行事、活動名 ()内は担当	活動内容	日時、回数等	備考
1 あいさつ推進 (企画委員会)	登校時や地域でのあいさつ奨励運動	年に数回程度	本年度のPTA重点目標を推進するため、朝の校門に立っての挨拶推進。
2 資源回収 (地域委員会)	運動場での作業	年2回（6月、12月の日曜日早朝、2時間程度）	高学年の保護者は地域に於ける活動があると思われるので、低学年の保護者がよいと思われる。
3 ベルマーク集約 (生活委員会)	ベルマークの分類、集約	年2回程度	生活委員会の際に、ベルマーク作業を行う。
4 プール監視 (企画委員会)	プール監視の手伝い	夏休み期間中数日、1日1時間以上	子供たちの安全確保のため多くの監視補助が必要。できれば往復時の引率もお願います。
5 会場準備、片付け (学校、企画委員会)	講演会などにおいての椅子等の設置、片付け	年2回程度	家庭教育講演会時など
6 おっちゃんの会	校内の環境整備など	年数回	活動の詳細は会にて決定予定
7 読書 (すきっぷ)	朝の活動時、児童への読み聞かせ	月1回、第2水曜日（予定）8:20～8:35	子供たちに大好評。（29名）
8 学童農園作業補助	学童農園の作業時の手伝いや下準備	年数回	農作物の植え付けや、手入れ、収穫などの栽培作業のお手伝いをしてくださる方
9 見守りたい補助	下校時の見守りの手伝い	都合のつく日時（下校の時間帯の中で）	見守りたいのお手伝い（都合のつくときに下校の見守りに協力する）

(2) 学校行事

校外学習の引率援助、収穫祭の支援、学年農園の手伝いなどは、別途、学校からの案内でボランティアを募ります。

②地域への協力依頼

- ・収穫祭にもなる通年の学童農園作業に関しては、元PTA会員や区長さん・公民館長さんなどの地域の役職の方、JA指導員の方に入っている。

◇活動時の子どもの喜ぶ姿や感謝の気持ちを、折に触れて伝えたり、学校日よりなどを通して知らせることが、次への活動への協力を生んでいる。

